

令和6年度 第78回北設楽郡公共交通活性化協議会 次第

日 時：令和6年12月12日（木）午後1時30分から

場 所：設楽町社会福祉協議会 2F 会議室

1. あいさつ

2. 議 題

（1）計画評価について（協議事項）（資料1－1～1－4）

（2）町営バス東栄設楽線の田口高乗入れについて（協議事項）（資料2）

（3）町営バス稲武線の一部ダイヤ改正について（協議事項）（資料3）

3. その他

- ・豊鉄バス田口新城線ダイヤ改正のお知らせ
- ・3町村打合せ（新体制構築）
- ・職員研修（地域公共交通の維持と確保に向けて）への参加について
- ・おでかけイベントの案内（設楽町）

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

北設楽郡公共交通活性化協議会 (設楽町・東栄町・豊根村)

平成 2 1 年 3 月 1 3 日設置

令和 4 年 1 0 月 1 7 日 第 2 次北設楽郡地域公共交通網形成計画改定
(計画期間：令和 3 年 6 月～令和 6 年 3 月)

令和 6 年 3 月 北設楽郡地域公共交通計画策定
(計画期間：令和 6 年 4 月～令和 1 1 年 3 月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

【地域の概況】

北設楽郡：設楽町・東栄町・豊根村から構成される中山間過疎地域

人口：8,396人、高齢化率51.2%【R2国勢調査】

- ・郡内に高校1校、総合診療所1院→公共交通によるアクセス確保必須
- ・各町村において移住定住施策を推進しているが、人口減少続く

【北設楽郡公共交通計画の概要】

期間：令和6年度～令和10年度

目指す姿（基本方針）：

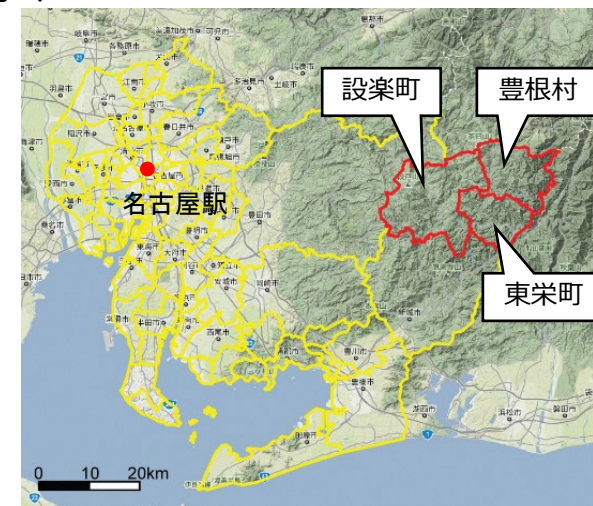
**「この地に暮らしたい」想いを支える
おでかけ環境を創り・守り・育てることの実現**

計画の目標：

- 目標①：高校の卒業まで安心して通学できる
- 目標②：高齢者が安心して暮らし続けられる
- 目標③：郡外からの来訪者や新たな利用者の確保
- 目標④：おでかけ環境を維持可能とするための体制構築

対象路線：

基幹バス 7路線、支線バス 4路線、
予約バス 12路線、
のってかせ、がんばらマイカー、
福祉タクシー等

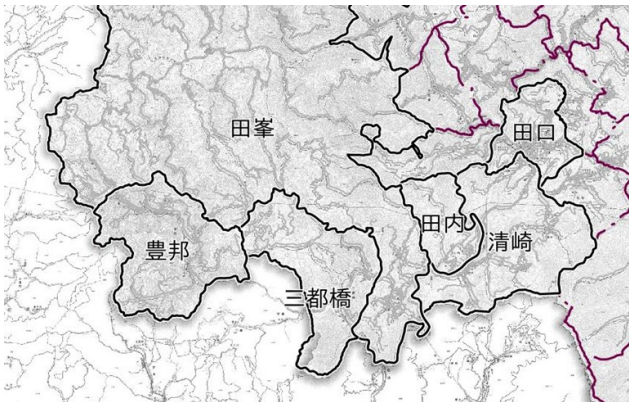


事業項目		目標との対応				今年度実施した具体的な事業例 (一部)
		通学	高齢者	来訪者	新体制	
		①	②	③	④	
バスサービスの維持と見直し	基幹バスの運行	○	○	○		基幹6(5) 路線を運行 ※()内赤字はフィーダー補助受給系統数 田口新城線、JR東栄駅への接続路線との乗継を考慮した調整
	支線バス・予約バス・スクールバス等の運行と見直し	○	○	○		支線4(2)・予約12路線を運行 ・予約バスの運行内容の変更（設楽町、東栄町） ・スクールバス混乗の検討・実施（設楽町） ・福祉タクシー助成（東栄町） ・学輸バス桑原線の見直し（東栄町）
学生の通学に必要な移動を支えるための施策	・小中学生の通学手段の提供 ・通学できる環境の確保	○				・小中学生へ町村営バス無料乗車券配布（東栄町、豊根村） ・高校生への通学費補助の継続（設楽町、東栄町、豊根村） ・田口高校生徒通学費全額補助の継続（設楽町,豊根村）
高齢者の外出手段確保の取組	移動手段に問題を抱える高齢者の外出手段確保の取組		○			・のってかせ事業（津具地区）の維持（設楽町） ・バスの利用方法についての出前講座の実施（東栄町） ・がんばらマイカー事業の維持（豊根村）

スクールバス混乗化へ向けた取組（設楽町・三都橋豊邦線）

【内容】

町営路線バス（第1便）をほぼ同時刻に運行していたスクールバス（朝便）に集約することで、バス事業運営の効率化に努める。
（実施時期：令和6年10月1日）



【期待される主な効果】

- 町の財政支出改善効果
混乗前：町営バス運行経費+スクールバス運行経費-運賃収入
混乗後：スクールバス運行経費-運賃収入
- 運転士の確保、運行車両の有効活用

予約バス運行の内容変更について（設楽町・三都橋豊邦線）

【内容】

- 目的：路線バスの利用促進及び高齢者の買い物支援
- 田口へのおでかけ（買い物等）モデルコースを設定するためデマンドダイヤを一部変更。
- 予約をせずにバスを利用できる日（毎週月曜日）を設定することで、更なる路線バスの利用促を図る。
- 実施時期：令和6年10月1日

【期待される主な効果】

- 予約バス利用者の促進、高齢者の足の確保
- 10月1日から運行を実施しているが、12月までの利用者は0名。
- 住民への周知のため、12月14日（土）に地区説明会を実施する。

ダイヤ（案）							備考
バス停	桑平/西川	豊邦	田峯	清崎	田口	設楽中	
第1便	7:08 (-)	7:18 (7:18)	※1	7:45 (7:45)	7:53 (-)	7:57 (7:55)	スクールバス混乗化
予約1	8:11	8:19	8:35~ 9:04※2	8:37~ 9:11	8:45~ 9:29		新城へ接続
予約2	12:42	12:36	11:10	11:05	10:56		
予約3	12:50	12:58	13:24※3	13:29	13:37		新城へ接続
予約4	15:23	15:17	14:51※4	14:46	14:40		新城から豊邦方面接続
予約5	15:53	15:47	15:21	15:16	15:10		
第2便	17:05	16:59	16:33※5	16:28	16:20		下校便 新城へ接続
第3便	17:06	17:12	17:38	17:43	17:51		
予約6	19:16	19:10	18:44※6	18:39	18:31		新城から豊邦方面接続

バスの利用方法についての出前講座【東栄町】

高齢者等生活拠点施設「おいでん家」は東栄町内の各地区で交流の場として開設されている。

令和4年11月にバス路線が変更されてから1年半が経ったため、改めてバスの利用方法について高齢者が集まるおいでん家で出前講座を行った。

路線バス・予約バスの利用方法、バスの乗降の仕方、バスの時刻の調べ方を説明し、作成した予約バスの使い方の動画を通して、実際に利用するときのイメージを持っていただき、テレビで町からの情報発信をしている「とうえいチャンネル」でバスの時刻表の表示の仕方を実演した。

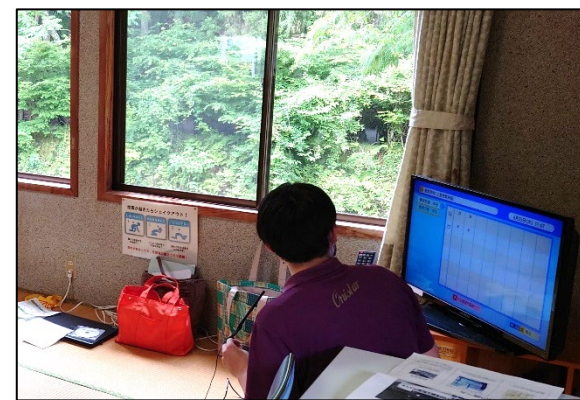
- ・ 11か所のおいでん家で出前講座を行い、計91人の参加があった。
- ・ 受診や買い物にバスを利用している方からはどのように使っているか聞くことが出来た。
- ・ 自家用車を利用している方や家族の送迎がある方でもバスを使うという選択肢を持つことで便利に出かけることが出来る意識づけを行った。



予約バスの動画を見る参加者



予約バスの動画の一部



とうえいチャンネルの操作方法の説明

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

○総合評価：目標の達成状況を判断

○路線別評価：適切なサービス供給形態であるかどうかを判断

対前年数値を基準として増減要因を分析。経年変化も把握し、次年度以降の事業見直しに反映

【総合評価】

下表の3つの目標に関する4指標について、前年度からの増減とその要因分析により評価

目標	評価指標	基準値	実績	増減	増減要因の分析
①高校の卒業まで安心して通学できる	A 高校生自宅通学率 ・自宅通学者数1) / 中学校卒業数2) ※1) 郡内自宅から郡内外高校通学者 (通学方法は問わない) ※2) 前3ヶ年の3町村中学校卒業数	R5 60.5% 98人 162人	R6 56.2% 86人 153人	△4.3%	・自宅通学者数が減少したことから、通学率は悪化している。 ・厳しい状況が続くが、引き続き郡内の高校及び郡外学校への自宅からの通学手段を確保し、通学費用補助等支援を継続することで、当地域の高校生を確保していきたい。
②高齢者が安心して暮らし続けられる	B 高齢者に公共交通を利用してもらうための取組の実施件数 = 各町村で実施した実績件数 ※各町村で実施した結果に基づく	新規	13件	新規	・内訳：設楽町 2件 東栄町 11件 豊根村 1件 設楽町：三都橋・豊邦地区へバス乗り方説明会・おでかけイベントの実施 東栄町：各地区での出前講座実施件数 豊根村：通院交通費助成の拡充（がんばらマイカー待ち時間を対象）
③郡外からの来訪者や新たな利用者の確保	C 住民一人あたりの公共交通利用回数 年間利用者総数3) / 3町村住基人口（年度末） ※1：下記の合計数値（バス年度） ・基幹バス田口新城線の内、設楽町での乗降者数 ・基幹バス年間利用者数（田口新城線以外、小中学生の定期利用除く） ・支線バス年間利用者数（小中学生の定期利用除く） ・予約バスの年間利用者数 ・「のってかっせ津具」「がんばらマイカー」の年間利用者数 ・福祉タクシー・移送サービスの年間利用者数	10.8回 87,603回 8,080人	11.3回 88,580回 7,837人	0.5%	・前年度に比べ、田口新城線の利用者が増加したことにより、数値が改善された。 ・路線バス利用者は年々微減している。しかし、福祉移送サービスやのってかっせ（津具地区）の利用者は増加傾向にあるため、数値が改善された。 ・今後も公共交通利用者は減少する見込みの中で、おでかけできる環境を整えることで、利用促進を図り、今ある公共交通を維持していきたい。
	D 利用者一人あたりの公的負担額（全路線合計） =（年間総運行経費－運賃収入）/ 年間利用者数 ※構成町村で作成する、路線カルテの数値（バス年度）に基づく ※各路線についても同様（自己評価で掲載）	1,860円 147百万円 79,169人	2,093円 153百万円 72,670人	223円	・燃料費や人件費の高騰により費用が増加した。利用者も減少傾向にあるため、数値が悪化した。 ・時刻表や路線図、観光スポット等をHPなどにしっかり掲載することで、周知を行い、郡外からの利用者の確保に努める。
④おでかけ環境を維持可能とするための体制構築	E 毎年の協議状況について協議会で報告する	新規	-	-	・今年度は公共交通計画の策定、及び利便増進実施計画の策定を行ったので、進捗状況は良くなかった。来年度以降、現状把握含め、移行に向けた調査・検討していく。

【路線別評価】

路線別の運行1回（＝1往復）あたりの利用者数、及び利用者1人あたりの輸送コストを算出し前年度数値との比較による増減要因の分析により評価

3.【Check】計画の達成状況の評価指標とその結果

【路線別評価の結果①】確保維持改善計画の目標および達成状況 — 前年度数値の維持 —
基幹バス・支線バス各路線の運行1回（＝1往復）あたりの利用者数 単位：人

○フィーダー受給系統

路線系統名		実績値		利用者数	達成可否 (前年度比)	今後の改善への取組み
		R5	R6			
基幹バス	○1.東栄設楽線 (設楽町・東栄町)	3.3	2.9	4,966人	B	豊鉄バスへの乗継と田口高校への通学利便を考慮した運行実施 田口高校乗入れを検討
	○2.豊根東栄線 (東栄町・豊根村)	6.7	6.4	12,461人	B	福祉関係者や町内事業者と連携した利用促進、JRや通院・買い物利用など利便性向上への見直しを実施
	○3.東栄まちなか線 (東栄町)	5.3	5.1	14,195人	B	観光利用に結びつく利用方法の情報発信
	○4.稲武線（設楽町）	3.9	3.9	4,627人	A	町外路線の接続維持と豊田市方面への利用促進、田口高校乗入れを検討
	○5.豊根設楽線（豊根村）	2.3	1.9	3,190人	B	豊鉄バスとの乗継を考慮したダイヤの調整の継続。津具線との重複区間解消に向けた調整
	6.津具線（設楽町）	3.2	2.9	4,883人	B	設楽町役場への乗入れ。スクールバス混乗化の検討。豊鉄バスへの乗継を考慮したダイヤの調整の継続
支線バス	○R2.三都橋豊邦線（設楽町）	4.8	2.2	1,260人	B	スクールバスの混乗化を実施。豊鉄バスの乗継を考慮したダイヤ調整の継続
	N1.坂宇場線（豊根村）	12.5	10.9	7,957人	B	通院や通学の利便を考慮した運行実施
	N2.三沢線（豊根村）	12.6	11.6	8,460人	B	通院や通学の利便を考慮した運行実施
	N3.富山線（豊根村）	1.0	0.9	2,109人	B	JRとの接続や通院や通学の利便を考慮した運行実施

※ A：目標を達成した路線、B：目標未達成だが、通学の足の確保及びサービスの見直し等を実施、C：A・B以外

■【路線別評価の結果①】確保維持改善計画の目標および達成状況 — 前年度数値の維持 —
基幹バス・支線バスの路線ごとの利用者一人あたりの欠損額（運行経費－運賃収入） 単位：円

○フィーダー受給系統

路線系統名		基準値	実績値	達成可否 (R5→R6)
		R5	R6	
基幹バス	○1.東栄設楽線（設楽町・東栄町）	1,695円	1,930円	×
	○2.豊根東栄線（東栄町・豊根村）	1,601円	1,712円	×
	○3.東栄まちなか線（東栄町）	1,089円	1,067円	○
	○4.稲武線（設楽町）	2,979円	3,247円	×
	○5.豊根設楽線（豊根村）	3,219円	4,517円	×
	○6.津具線（設楽町）	3,648円	4,335円	×
支線バス	○R2.三都橋豊邦線（設楽町）	3,719円	7,804円	×
	N1.坂宇場線（豊根村）	648円	817円	×
	N2.三沢線（豊根村）	669円	799円	×
	N3.富山線（豊根村）	2,747円	3,176円	×

路線別評価結果
分析と今後の改
善への取組み

【分析】

- ・経費については、人件費や燃料費が高騰しており悪化傾向にある。
- ・利用者1人あたりの欠損額が増加した路線は、全10路線中9路線。
- ・路線バスの運営状況は依然として、厳しい環境にあるといえる。

【今後の改善への取組】

- ・厳しい状況ではあるものの、引き続き主な利用者である学生や高齢者への支援を行い、今後の改善への取組みを実施して行くことで数値の改善を図る。また、おでかけ北設HPやアプリを活用し、情報発信を強化することで郡外からの公共交通利用者の促進を図り、北設楽郡地域の公共交通の維持を目指す。

4.【Act】自己評価から得られた課題と対応方針

項 目	課 題	対 応
路線バス 三都橋豊邦線	・ 運営状況が悪化したため、利用促進への取組を検討する必要がある	・ 令和6年10月1日からスクールバス混乗化を実施。 ・ 道の駅したらにバス停を新設（令和6年10月1日実施）し、田口～道の駅したら間の移動手段を確保。利便の向上を図り、乗客数増加を目指す。 ・ 東三河公共交通活性化協議会と連携し、地域内の公共交通機関が連携した観光利用促進について検討・実施
学生の通学に必要な移動を支えるための施策	・ 高校生自宅通学率の低下	・ 進路の検討に活用できるよう、高校通学マップを作成する。 ・ 学輸バスから予約バスとなった桑原線の高校生の混乗を継続し、桑原地区の高校生がバス通学ができる環境を整える。（東栄町）
高齢者の外出手段確保の取組	・ がんばらマイカー運転手の負担の増加や担い手不足	・ 令和6年4月から、豊根村が利用料金（待ち時間分を含む）の半額を上乗せして運転手を支援。 ・ 令和6年5月から、村内・村外の待ち時間料金を統一。変更前は、村内での待ち時間は1時間未満は無料であったが、村内でも30分毎に500円加算に変更。
郡外からの来訪者や新たな利用者の確保	・ 郡外からの来訪者や新たな利用者の確保	・ 東三河MaaSの情報を充実させる。 ・ おでかけ北設のホームページリニューアルにより、利用方法、沿線情報を分かりやすく発信する。

年度	直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	・新都市と共に現在作成中の地域間幹線 系統（田口新城線）を中心とする利便増進実施計画について、本計画が有効なものとなるよう、引き続き、関係者や地域住民を交え、連携・共創の下、検討や策定が進められることを期待する。	・設楽ダム見学ツアーの継続実施等、継続的に乗車企画を行い、利用促進を図る。 ・また、利便増進実施計画に基づき、令和6年10月から設楽町役場までの延伸、ゾーン制運賃の導入を実施した。	・昨年度に引き続き、田口新城線の利用者は増加傾向にあった。 ・今後も乗車イベントを継続的に行うことにより、利用促進を図っていく。
	・現在作成中の公共交通計画を踏まえ、おでかけ北設を始めとする地域全体の公共交通の確保維持、利便性向上と利用促進につながるよう、引き続き、三町村が連携して施策に取り組むことを期待する。	・利用が減少傾向にある中、北設楽郡の公共交通を確保維持・利便向上を図るため、予約バスの運行内容の変更、定期路線のスクールバス混乗の検討及び学輸バスの見直しを行った。	・今後も北設楽郡の公共交通を維持していくため、公共交通利用者を増加させる取り組みを行っていく。

年度	直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	・ 地域間幹線系統（田口新城線）については、輸送量が補助基準を満たさなくなる恐れがあり、地域内フィーダー系統補助への影響も懸念されるため、路線のあり方を含め早急に具体的な対策を新城市と連携しながら、検討を進められることを強く期待する。	・ どうする田口新城線特別乗車企画を実施した。 （フリー乗車券の発売、新城市と合同によるキックオフイベント、設楽ダム見学ツアーの実施、公共交通を利用した星空観察イベントの実施等）	・ イベント等企画したことにより利用増。 ・ 今後は地域内で活用を促進しつつ、乗車イベント等継続的に行うことにより、田口新城線の利用促進を図る。
	・ 児童や生徒などの通学、通勤や、出張など一定の利用が見込まれる路線において利用者を捉える努力により路線を維持・強化し、平行して地域外からの訪問者を誘導する取り組みをすすめることを期待する。 ・ そのために、地域内の住民のみならず、関係人口を増やす視点を取り込まれることを期待する。	・ 路線別評価（運行1回あたりの利用者数、利用者一人あたりの輸送コスト）を実施し、路線の維持等を検討した。 ・ どうする田口新城線特別乗車企画を実施することにより地域外からの訪問者の増に繋がった。	・ 今後も北設楽郡の公共交通を維持していくため、通学利用を増加させるとともに、郡外からの訪問者を確保していく。（新計画に記載）

年度	直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	・三町村での連携した共同運営について検討を継続し、できるところから着手していくよう期待する。	・新しい地域公共交通計画に記載	・新たな移動サービスの導入を含めた検討・見直し。 ・現利用者との意見交換の他、周知方法の工夫や関係者と連携した新たな利用者確保に取り組む。
	・地域公共交通計画の策定にあたっては三町村が協働・連携した移動ネットワークが対象であることに留意して検討されることを期待する。	・新しい目標として、「おでかけ環境を維持可能とするための体制構築」を設定。	・今後も公共交通を維持していくため、新計画のもと、改めて三町村の連携を強く事業を進めていく。

【協議会の実施状況】

- ③ 第74回協議会（書面決議） 令和6年1月12日
主な議題：計画評価について
- ④ 第75回協議会（書面決議） 令和6年3月19日
主な議題：来年度予算について
- ① 第76回協議会 令和6年 6月21日
主な議題：おでかけ北設のダイヤ改正及び路線変更（バス停追加）、
運賃体系の見直しについて、田口新城線の路線変更等について
- ② 第77回協議会（書面決議） 令和6年 8月23日
主な議題：スクールバス混乗化に伴う自家用有償運送の登録変更について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1-2

協議会名： 北設楽郡公共交通活性化協議会

令和 6 年 12 月 12 日

評価対象事業名： 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を 受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価 【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A・B・C 評価 【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを、 目標ごとに記載。目標・効果が 達成できなかった場合には、理 由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記 載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地 域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果 を生活交通確保維持改善計画にどのように反映 させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載 すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその 旨記載
設楽町	4.稲武線 ①田口—どんぐりの湯前	高校への通学及び高齢者の 買い物・通院の移動手段と して、乗継利便性の維持・向 上を目指した。	A 計画に基づく事業が適切に実施 された。	B 1回(1往復)あたりの利用者数 は3.9人であり、前年度と同数値 の現状維持となった。 しかし、買い物・通院利用者も コロナ禍以降自家用車利用へ振 替するとともに、バス利用者の高 齢化により病院への通院回数も 減少している状況である。また、 近年は人件費、燃料費等が高騰 しており、欠損額が微増した。 主に町北西部地区から郡内唯 一の田口高校への通学の足とし て利用され、豊鉄バス田口新城 線及び豊田市おいでんバスとの 接続を確保した生活に欠かせな い路線となっている。	高校生の通学の足として引き続き運行 すると共に、豊田市バス及び豊鉄バス 田口新城線との接続を考慮した時刻 設定を継続する。 本路線は、沿線地域にとって、安心・安 全に田口高校へ通学できる貴重な移 動手段となっていることに変わりはなく、 また、運行便数は少ないものの、田 口バス停で新城・豊橋方面、どんぐり の湯で足助・豊田市方面へ行くバスと 接続を確保し、引き続き郡外への移動 を含めた生活路線として維持してい きたいと考えている。
設楽町・東栄町	1.東栄設楽線 ①本郷—田口 ②田口—向嶋 ③東栄町役場—田口 R3年度車両購入(東栄町:車両減価償 却費に係る国庫補助金交付)	田口高校への通学、東栄診 療所への通院、とうえい温 泉の利用、小・中学生の登 下校路線として利用しやす い時刻編成としている。 高校生の土曜日部活へ参 加できるバスの便を継続運 行した。	A 計画に基づく事業が適切に実施 された。	B 1回(1往復)あたりの利用者数 は、2.9人であり、前年度比△0.3 人となった。該当地区に生活す る小学生の人数が減少したこと が主な要因と考えられる。 東栄町及び設楽町の町域を跨ぐ 路線として、それぞれの町営バ スが互いに乗り入れ運行してい る。東栄町内から田口高校への 通学の足を確保すると共に、設 楽町からとうえい温泉や東栄駅 へ乗り継ぎ利用も可能で、東栄 町内の小学生の通学も担う重要 な路線となっている。	三町村で郡内唯一の田口高校の魅力 化に取り組んでおり、引き続き通学 のための路線維持が必要。引き続き設楽 町と東栄町との相互乗り入れで利用し やすい路線運営を続けていきたいと考 えている。 今後町域を跨ぐ重要な幹線として継 続して運行を行うとともに、利用人数は 減少しているものの、その利用者にと ってバス移動が必要な移動手段であ り、地域での生活を支えているという役 割を再認識し、施設への乗り入れや分 かりやすいバス停表記等への変更等 に取り組む。

設楽町	R2 三都橋豊邦線 ①設楽中—桑平 ②設楽中—桑平	生活用品購入の移動手段、 高校生の通学手段としての 利便性の向上を目指した。	A	計画に基づく事業が適切に実施 された。	B	1回(1往復)あたりの利用者数 は2.2人であり、前年度比△2.7人 となった。 減少の主な利用として、今まで 利用者の大半が小中学生の通 学利用が占めていたが、R6年4 月～スクールバスの運行が開始 したため と考えられる。しかし、依然として 買い物、通院での利用及び高校 生の通学手段として生活に欠か せない路線となっている。	沿線児童・生徒の通学手段がスクール バスへ変更されたことにより、利用者 が大きく減少した。 R6.10月～スクールバス混乗化を実施 し、町営バスの安定した運行を目指 す。また、随時、一般住民の利便性を 確保するためダイヤ改正等を行い路線 の維持に努める。 田口新城線と結節を維持し、新城・豊 川方面への乗継利用へ繋げていく。
東栄町	3.東栄まちなか線 ①東栄町役場前—東栄駅前 ②東栄駅前—本郷 ③東栄駅前—本郷 ④東栄駅前—とうえい温泉前 ⑤東栄駅前—東栄町役場 ⑥本郷—東栄駅前 R4年度車両購入(東栄町:車両減価償 却費に係る国庫補助金交付)	JR飯田線との結節を保ち、 町中心部の施設を周回す る。東栄診療所への通院、 小中学生や町外へと進学す る高校生の通学手段として、 利便性の向上を目指した。	A	計画に基づく事業が適切に実施 された。	B	1回(1往復)あたりの利用者数 は5.1人であり、前年度に比べ△ 0.2人となった。 また、高校生の自宅通学者数の 減少が続いている。	引き続きJR飯田線との時刻接結にも 配慮し、町外からの来訪者の町内での 長時間滞在及び消費活動を促進する ための公共交通網の構築を目指す。
東栄町・豊根村	2.豊根東栄線 ①東栄駅前—東栄町役場前 ②とうえい温泉前—東栄駅前 ③日向—本郷 ④日向—東栄駅前 ⑤東栄駅前—豊根村役場前 ⑥豊根村役場前—東栄駅前 ⑦豊根村役場前—東栄駅前	・東栄診療所への通院、小 中学生や町外へと進学する 高校生の通学手段として利 便性向上を目指した。 ・設楽町及び豊根村との結 節を保ち、より効率的な運行 を目指した。 ・利用者が利用しやすいよ う、JR飯田線を考慮した時 刻設定を行い利用促進を 図った。 ・バスへの広告掲載募集を 実施した(H25年4月から継 続)。	A	計画に基づく事業が適切に実施 された。	A	1回(1往復)あたりの利用者数 は、6.4人であり、前年度に比べ △0.2人となった。	通院、買い物など利用者が利用しやす いよう、JR飯田線を考慮した時刻設定 を行い利用促進を図るとともに、地域 での生活を支えるという目標に向けて 利便性の高い交通網への見直しを行 う。 東栄町、豊根村の温泉施設と連携しバ ス利用者の入浴料割引サービスの継 続の他、福祉関係者や事業者との連 携による利用促進に取り組む。
豊根村	豊根設楽線 ①大立—田口高校前 ②豊根村役場前—下津具 ③豊根村役場前—下津具 ④大立—下津具	田口高校へ通学する交通手 段を確保し、設楽町との結 節を保ち、通学のみならず 通勤にも便利な運行を目指 した。	A	計画に基づく事業が適切に実施 された。	B	1回(1往復)あたりの利用者数 は1.9人であり、目標の2.4人を達 成できなかったが、通学、通勤の 交通手段を確保できた。 主な利用者は田口高校通学者 である。また、令和2年度より予 約バスを一部導入し、需要に見 合った運行を行っている。	郡内唯一の田口高校への通学や新城 方面への通勤など利用者が乗り継ぎ がしやすいよう、引き続き豊鉄バスとの 乗継を考慮したダイヤの調整を行い利 用促進を図る。町村を跨ぐ移動を含め た生活路線として維持していきたいと 考えている。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

資料1-2

令和 6 年 12 月 12 日

協議会名:	北設楽郡公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持改善事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	愛知県北設楽郡は(設楽町・東栄町・豊根村)は、愛知県北東部に位置し長野県、静岡県に接する中山間地域である。地域の状況は厳しく、県域の約1割である553.2km²の面積を有するにもかかわらず、人口は県全体の1%にも満たない1万人余りであり、厳しい減少傾向が止まっていない。また、高齢化率は北設楽郡全体で約50%と、県の高齢化率約25%を大きく上回っている。 こうした状況の中で、安心して住みやすい地域を作ることが重要な課題であり、その基盤の一つとなる住民の移動手段の確保・充実のために、公共交通活性化・再生を進め、学生や高齢者といった自家用車を利用できない住民にとって利便性の高いサービスの確保のために、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(コミュニティバス・デマンドバス)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。 北設楽郡3町村は、平成21年3月に北設楽郡公共交通活性化協議会を共同で設置し、この地域の共通課題である安心して住み続けられるための「生活を支え、安心を提供する公共交通」の仕組み作りに取り組み、平成24年度から、広域的な公共交通網の確立を目指す、北設楽郡公共交通システム「おでかけ北設」を構築した。 協議会の立ち上げから10年以上が経過し、人口減少などこの地域をとりまく環境はさらに厳しくなる状況にあるが、北設楽郡地域公共交通計画を令和6年3月に作成し、「この地に暮らしたい」想いを支えるおでかけ環境を創り・守り・育てることの実現を目指し、引き続き3町村連携・協力して取り組んでいる。

路線カルテ 稲武線

資料 1 - 3 (設楽町)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	稲武線		設楽町		起点	田口
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	川向
		5	5	0		
	国・県補助	県補助	過疎バス		終点	どんぐりの湯
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

豊田市稲武地区と設楽町中心部の田口地区とを結ぶ区間を運行しており、名倉地区から田口高校への通学、隣接する豊田市足助高校へ通学する場合の交通手段として欠かせない路線となっている。また、田口地区や豊田市内への通院利用もあり、豊鉄バス田口新城線（地域間幹線）と結節することで新城方面への移動手段としても必要である。

沿線の主な施設

田口高校、設楽警察署、伊藤内科医院、名倉郵便局、JA愛知東名倉支店、アグリステーションなぐら、どんぐりの湯

利用者・地域・運行事業者などからの要望

【バス運転手】始発・最終便の利用者がほとんどいない。予約バス化するなど対策が必要なのでは。

今年度実施した取組とその効果

【実施取組】

ダイヤ改正

【効果】

特になし。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	1,440.0	18,502	12,616	2,314	3,572	18,502
2年目	1,460.0	18,560	12,557	2,324	3,679	18,560
3年目	1,465.0	19,101	7,275	7,690	4,136	19,101
4年目	1,462.0	20,249	7,783	9,747	2,719	20,249
5年目	1,465.0	18,921	6,237	10,812	1,872	18,921

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	5,671	1,403		1,403
2年目	5,325	1,531		1,531
3年目	4,819	1,549		1,549
4年目	4,289	1,595		1,595
5年目	5,272	1,629		1,629

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	3.9	7.6%	2,224.65	3,262.56		
2年目	3.6	8.2%	2,358.12	3,485.45		
3年目	3.3	8.1%	1,509.65	3,963.69		
4年目	2.9	7.9%	1,814.64	4,721.15		
5年目	3.6	8.6%	1,183.04	3,588.96		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

この路線は、名倉地区から田口高校へ通学する生徒の増減によって年間利用者数が変動する。
近年は少子化も伴って田口高校へ進学する生徒が減少傾向にある。

今後の取組方針・予定

利用者数の減少に合わせ、令和6年10月～25人乗り車両へ車両のサイズダウンを行った。

路線カルテ 東栄設楽線

資料 1 - 3 (設楽町)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	東栄設楽線		設楽町		起点	田口
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	小野
		3	5	0		
	国・県補助	県補助	過疎バス		終点	本郷
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

東栄町中心部の本郷地区から設楽町中心部の田口地区を運行し、郡内唯一の高校である田口高校への通学や東栄診療所・東栄保健福祉センターへの通院及び小・中学生のスクールバスとしての役割を担っている。さらに車を持たない高齢者の買い物利用などの生活路線としての役割も担っている。

沿線の主な施設

田口高校、伊藤内科医院、設楽町役場、松本歯科医院、千代姫荘、ファミリーマート中設楽店、東栄町役場、とうえい温泉、東栄診療所、東栄小学校、豊川信用金庫東栄支店、JA東栄支店

利用者・地域・運行事業者などからの要望

田口高校への乗り入れを検討。

今年度実施した取組とその効果

土曜日便の減便検討。（5便→3便）R6.10.1～実施

■運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	119.0	8,766	7,462	1,142	162	8,766
2年目	118.5	9,145	7,935	990	220	9,145
3年目	120.5	9,057	4,215	4,747	95	9,057
4年目	120.5	9,212	4,388	4,721	103	9,212
5年目	120.0	9,606	4,295	5,178	133	9,606

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	4,559	599		599
2年目	2,861	397		397
3年目	3,704	130		130
4年目	3,844	1,119		1,119
5年目	3,521	742		742

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	38.3	6.8%	1,636.76	1,922.79		
2年目	24.1	4.3%	2,773.51	3,196.43		
3年目	30.7	1.4%	1,137.96	2,445.19		
4年目	31.9	12.1%	1,141.52	2,396.46		
5年目	29.3	7.7%	1,219.82	2,728.20		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

この路線は、東栄町から田口高校へ通学する生徒、東栄町内で小・中学校へ通学する児童生徒の足として利用されている。少子化により利用者数は減少傾向にある。

今後の取組方針・予定

高齢者などのとうえい温泉や東栄診療所への移動手段としても利用されていることから、生活路線として維持していく。

路線カルテ 三都橋豊邦線

資料 1 - 3 (設楽町)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	三都橋豊邦線		設楽町		起点	設楽中
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	栗島
		4	4	0		
	国・県補助	県補助	過疎バス		終点	桑平
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

車を持たない高齢者の通院や買い物のための移動手段として利用されている。

沿線の主な施設

豊邦交流センター、三都橋交流センター、豊鉄バス田口新城線田峯停留所、段嶺郵便局、清嶺小学校、田口高校、設楽中学校

利用者・地域・運行事業者などからの要望

特になし。

今年度実施した取組とその効果

- ・予約バスダイヤの一部変更（お買い物ルートの実施）
- ・スクールバス混乗化（朝第1便）
- ・道の駅したらへの乗り入れ（予約便のみ）

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	572.0	10,527	8,154	974	1,399	10,527
2年目	574.0	10,423	8,170	819	1,434	10,423
3年目	576.0	11,281	5,115	4,531	1,635	11,281
4年目	584.0	12,737	6,513	5,134	1,090	12,737
5年目	578.0	10,047	4,635	4,599	813	10,047

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	4,031	666		666
2年目	4,421	859		859
3年目	3,448	660		660
4年目	2,913	795		795
5年目	1,260	212		212

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	7.0	6.3%	2,022.82	2,611.51		
2年目	7.7	8.2%	1,848.00	2,357.61		
3年目	6.0	5.9%	1,483.47	3,271.75		
4年目	5.0	6.2%	2,235.84	4,372.47		
5年目	2.2	2.1%	3,678.57	7,973.81		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

これまでこの路線は、地域の小・中・高校生の通学手段として利用されていたが、令和6年4月～スクールバスの運行が開始したため、町営バス利用者が減少した。

今後の取組方針・予定

令和6年10月～スクールバス混乗化を実施し、安定した町営バスの運営を行う。また、買い物ルートを確認するため、予約便のダイヤを一部改正し、一般住民の利用促進を図る。

路線カルテ 東栄まちなか線（旧 東栄線）

資料 1－3（東栄町）

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	東栄まちなか線		東栄町		起点	東栄駅前
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	東栄診療所前、 東栄町役場前、 とうえい温泉前
		8.5	6	6		
	国・県補助	県補助	過疎バス			
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

JR飯田線東栄駅から東栄町中心地域を東栄診療所を中心に、主要な施設のある地区を周回する。通院及び買い物利用などの生活路線、町外からの観光客の移動手段としての役割を担っている。小・中学生のスクールバス、郡外高校への通学手段となっている。

沿線の主な施設

ファミリーマート中設楽店、東栄町役場、とうえい温泉、のき山学校、東栄診療所、東栄小・中学校、豊川信用金庫東栄支店、JA東栄支店、よつば歯科、JR飯田線東栄駅

利用者・地域・運行事業者などからの要望

・バス停の時刻表を分かりやすくしてほしいとの意見があり、道路のどちらで待てばよいか分かりやすいものにした。（中設楽ファミリーマート東）

今年度実施した取組とその効果

・各おいでん家で高齢者向けにバスの利用の仕方の講座を開催した。（11か所、91人参加）
・東栄まちなかエリアから三輪方面へ向かう予約バスの時刻を変更し、定時バス沿線でも予約バスを利用できるようにし、午前の診療を終えた方がバスで帰宅しやすくした。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	2,554.5	16,391	10,156	3,132	1,853	15,141
2年目	2,473.0	17,789	11,024	3,590	1,829	16,443
3年目	2,809.5	15,084	7,619	3,898	2,791	14,308
4年目	2,521.0	13,465	9,348	1,482	1,853	12,683
5年目	2,491.5	13,977	8,562	581	3,932	13,075

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	14,195	1,250	0	1,250
2年目	15,103	1,346	0	1,346
3年目	14,928	776	0	776
4年目	14,535	782	0	782
5年目	14,164	902	0	902

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	5.6	7.6%	715.46	1,066.64		
2年目	6.1	7.6%	729.92	1,088.72		
3年目	5.3	5.1%	510.38	958.47		
4年目	5.8	5.8%	643.14	872.58		
5年目	5.7	6.5%	604.49	923.11		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

三輪地区の小中学生の通学利用者が増加したため、中学生のみ教育委員会で手配している別車にて登校している。令和10年までは小中学生が25人以上となる見込みである。

今後の取組方針・予定

周回運行の特性を活かしたお出かけコースの提案。
予約バスと組み合わせる利用の提案。

路線カルテ 豊根東栄線

資料 1 - 3 (東栄町)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	豊根東栄線		東栄町		起点	豊根村役場前
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	布川
		4	0	0		
	国・県補助	県補助	過疎バス		終点	東栄駅前
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割
豊根村中心地域から東栄町中心地域を経由してJR飯田線東栄駅間を運行し、東栄診療所・東栄保健福祉センターへの通院及び買い物利用などの生活路線としての役割も担っている。 小・中学生のスクールバス、郡外高校への通学手段となっている。

沿線の主な施設
豊根村役場、豊根小・中学校、豊根村診療所、ファミリーマート中設楽店、東栄町役場、とうえい温泉、東栄診療所、東栄小・中学校、豊川信用金庫東栄支店、JA東栄支店、よつば歯科、JR飯田線東栄駅

利用者・地域・運行事業者などからの要望
特になし

今年度実施した取組とその効果
・各おいでん家で高齢者向けにバスの利用の仕方の講座を開催した。(11か所、91人参加)

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	364.5	9,212	4,080	4,267	391	8,738
2年目	364.5	9,423	4,296	4,373	409	9,078
3年目	364.5	10,316	5,002	4,179	921	10,102
4年目	596.0	10,247	8,498	920	621	10,039
5年目	583.0	10,903	8,675	674	1,305	10,654

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	5,513	474	0	474
2年目	6,554	345	0	345
3年目	8,446	214	0	214
4年目	7,455	208	0	208
5年目	6,613	249	0	249

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	15.1	5.1%	740.07	1,584.98		
2年目	18.0	3.7%	655.48	1,385.11		
3年目	23.2	2.1%	592.23	1,196.07		
4年目	12.5	2.0%	1,139.91	1,346.61		
5年目	11.3	2.3%	1,311.81	1,611.07		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

通学利用者数によって増減する。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き通学、通院手段の生活路線として維持していく。

路線カルテ 東栄設楽線

資料 1 - 3 (東栄町)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	東栄設楽線		東栄町		起点	本郷
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	引田
		3	0	0		
	国・県補助	県補助	過疎バス		終点	田口
		国補助	フィーダー			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

東栄町中心部の本郷地区から設楽町中心部の田口地区を運行し、郡内唯一の高校である田口高校への通学や東栄診療所・東栄保健福祉センターへの通院及び小学生のスクールバスとしての役割を担っている。さらに車を持たない高齢者の買い物利用などの生活路線としての役割も担っている。

沿線の主な施設

田口高校、伊藤内科医院、設楽町役場、松本歯科医院、千代姫荘、ファミリーマート中設楽店、東栄町役場、東栄中学校、とうえい温泉、東栄診療所、東栄小学校、豊川信用金庫東栄支店、JA東栄支店

利用者・地域・運行事業者などからの要望

特になし

今年度実施した取組とその効果

・各おいでん家で高齢者向けにバスの利用の仕方の講座を開催した。(11か所、91人参加)

■運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目	121.5	6,033	2,209	3,268	109	5,586
2年目	121.0	6,518	2,322	3,459	115	5,896
3年目	120.5	7,343	4,713	2,094	241	7,048
4年目	120.0	6,304	4,874	1,064	139	6,077
5年目	116.5	6,524	5,105	923	308	6,336

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	1,454	447	0	447
2年目	1,741	622	0	622
3年目	1,937	295	0	295
4年目	1,946	227	0	227
5年目	1,855	188	0	188

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	12.0	7.4%	1,519.26	3,841.82		
2年目	14.4	9.5%	1,333.72	3,386.56		
3年目	16.1	4.0%	2,433.14	3,638.62		
4年目	16.2	3.6%	2,504.62	3,122.82		
5年目	15.9	2.9%	2,752.02	3,415.63		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

月地区の小学生の下校、早朝の高校生の登校の利用者数によって増減する。

今後の取組方針・予定

小学生、田口高校の通学手段、通院目的の生活路線として維持していく。

路線カルテ 豊根設楽線

資料 1 - 3 (豊根村)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	豊根設楽線		豊根村		起点	大立
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	下津具
		7	0	0		
	国・県補助	県補助	あり		終点	田口高校前
		国補助	あり			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割
豊根村から郡内唯一の高校である田口高校へ通学する手段を確保する路線であり、また豊鉄バス田口新城線（地域間幹線）と結節することで新城方面への移動手段としても必要である。

沿線の主な施設
豊根村役場・豊根小、中学校・豊根村診療所

利用者・地域・運行事業者などからの要望
特になし。

今年度実施した取組とその効果
R2.4～ 大立～石堂（当時）間を予約バスに変更し経費削減を図った。
R2.4～ 子どもの登校時に豊根小学校前に乗り入れし、三沢線定員オーバー解消を図った。
R4.11～ 「石堂」と「豊根村役場前」を入れ替え、利便性向上を図った。
R4.11～ 東栄診療所移転及び通院需要を踏まえ、豊根設楽線のつぐ診療所への乗り入れを中止し、時間短縮を図った。

■運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目(H30)	1,686.0	14,825,369	11,494,369	2,788,000	543,000	14,825,369
2年目(R1)	1,636.0	15,953,692	12,628,692	2,596,000	729,000	15,953,692
3年目(R2)	1,573.0	14,435,420	10,481,420	1,043,000	2,911,000	14,435,420
4年目(R3)	1,659.0	14,015,904	5,723,904	5,033,000	3,259,000	14,015,904
5年目(R4)	1,693.0	14,857,791	5,933,791	6,753,000	2,171,000	14,857,791
6年目(R5)	1,706.0	13,363,146	5,141,146	7,874,000	348,000	13,363,146

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	4,066	1,307,150	12,600	1,319,750
2年目	5,359	1,628,670	7,000	1,635,670
3年目	4,924	1,666,245	0	1,666,245
4年目	5,493	1,258,550	1,400	1,259,950
5年目	4,670	991,205	0	991,205
6年目	3,844	987,670	1,400	989,070

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	2.4	8.8%	2,826,947.61	3,646,180.28		
2年目	3.3	10.2%	2,356,538.91	2,976,990.48		
3年目	3.1	11.5%	2,128,639.32	2,931,645.00		
4年目	3.3	9.0%	1,042,036.05	2,551,593.66		
5年目	2.8	6.7%	1,270,619.06	3,181,539.83		
6年目	2.3	7.4%	1,337,446.93	3,476,364.72		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

利用者については、田口高校への通学利用は減少傾向であるが、3年目以降三沢線利用の保・小・中学生の一部が利用することで利用者の落ち込みは少ない。（通学者1人の増減で年間400人程度増減する）

経費については、3年目以降一部予約バス化することにより、経費削減ができたが、近年の物価高騰により経費が増加している。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き、田口高校への通学手段の確保及び豊鉄バス田口新城線への接続を図る。

路線カルテ 豊根東栄線

資料 1 - 3 (豊根村)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	豊根東栄線		豊根村		起点	豊根村役場前
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	本郷
		4	0	0		
	国・県補助	県補助	あり		終点	東栄駅前
		国補助	あり			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割
豊根村中心地域と東栄町中心地域を經由して J R 飯田線東栄駅との間を運行する。 東栄診療所・東栄保健福祉センターへの通院・買い物等の移動手段である。 J R 飯田線東栄駅と結節しているため、郡外高校への通学手段、通院・買い物の移動手段である。

沿線の主な施設
豊根村役場・豊根小、中学校・豊根村診療所・東栄町役場・とうえい温泉・東栄診療所・東栄駅

利用者・地域・運行事業者などからの要望
特になし。

今年度実施した取組とその効果
H31.4～ 「下古戸」バス停を移設し利便性向上を図った。 R4.11～ 東栄診療所の移転に併せ、通院での利用に影響がないよう停留所を移設した。 R4.11～ 「布川」～「粟代」間を予約バスに変更し東栄町営バスが対応することにより経費削減が図られた。 R4.11～ 10か所の停留所名称を変更することにより、利便性向上を図った。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目(H30)	964.0	9,788,337	6,855,337	906,000	2,027,000	9,788,337
2年目(R1)	952.0	10,756,006	7,116,006	463,000	3,177,000	10,756,006
3年目(R2)	928.0	10,809,837	7,731,837	676,000	2,402,000	10,809,837
4年目(R3)	926.0	11,375,258	4,644,258	4,254,000	2,477,000	11,375,258
5年目(R4)	951.0	14,064,012	6,274,012	6,239,000	1,551,000	14,064,012
6年目(R5)	974.0	12,595,686	5,283,686	5,538,000	1,774,000	12,595,686

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	7,473	847,050	12,600	859,650
2年目	8,312	936,040	7,000	943,040
3年目	7,721	783,850	0	783,850
4年目	7,840	612,500	1,400	613,900
5年目	6,994	752,100	0	752,100
6年目	6,460	832,850	1,400	834,250

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	7.8	8.7%	917,347.38	1,309,826.98		
2年目	8.7	8.7%	856,112.37	1,294,033.45		
3年目	8.3	7.3%	1,001,403.57	1,400,056.60		
4年目	8.5	5.4%	592,379.85	1,450,925.77		
5年目	7.4	5.3%	897,056.33	2,010,868.17		
6年目	6.6	6.6%	817,908.05	1,949,796.59		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

利用者については、通学者で左右されるもののほぼ横ばいである。

経費については、車両更新による減価償却費や近年の物価高騰により経費が増加している。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き、ＪＲ飯田線東栄駅での接続及び東栄診療所・東栄保健福祉センターへの通院・買い物等の移動手段の確保を図る。

路線カルテ 坂宇場線

資料 1－3（豊根村）

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	坂宇場線		豊根村		起点	豊根中村
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	金越
		4(うち予約1)	0	0		
	国・県補助	県補助	あり		終点	豊根村役場前
		国補助	なし			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

車を持たない高齢者の通院や買い物のための移動手段として、また、小学生・中学生の通学の足として利用されている。

沿線の主な施設

道の駅豊根グリーンポート宮嶋・豊根村診療所・豊根小、中学校・豊根村役場

利用者・地域・運行事業者などからの要望

特になし。

今年度実施した取組とその効果

R3.4～ 昼便を予約バスに変更し経費削減を図った。

R4.1～ 中学校未来塾時間変更により、石堂行き最終便「中野」への乗り入れを中止し経費削減を図った。

R4.11～ 「石堂」と「豊根村役場前」を入れ替え、利便性向上を図った。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目(H30)	963.0	6,586,714	4,738,714	1,848,000	0	6,586,714
2年目(R1)	960.0	7,296,454	5,454,454	1,842,000	0	7,296,454
3年目(R2)	928.0	7,288,855	5,508,855	1,780,000	0	7,288,855
4年目(R3)	739.0	6,838,785	3,592,785	3,246,000	0	6,838,785
5年目(R4)	770.0	7,742,721	3,669,721	4,073,000	0	7,742,721
6年目(R5)	772.0	7,750,506	3,518,506	4,232,000	0	7,750,506

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	12,550	2,298,150	11,200	2,309,350
2年目	11,721	2,224,950	5,600	2,230,550
3年目	10,446	2,253,000	0	2,253,000
4年目	12,367	1,969,600	0	1,969,600
5年目	10,502	1,598,800	0	1,598,800
6年目	9,313	1,401,550	0	1,401,550

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	13.0	34.9%	377,586.77	524,837.77		
2年目	12.2	30.5%	465,357.39	622,511.22		
3年目	11.3	30.9%	527,365.02	697,765.17		
4年目	16.7	28.8%	290,513.87	552,986.58		
5年目	13.6	20.6%	349,430.68	737,261.57		
6年目	12.1	18.1%	377,805.86	832,224.42		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

利用者については、通園・通学がほとんどであり、増減には影響が大きい。
経費については、予約バスに変更等したことにより削減につながったもの、車両更新による減価償却費や近年の物価高騰により経費が増加している。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き、通院・買い物・通学の移動手段の確保を図る。

路線カルテ 三沢線

資料 1 - 3 (豊根村)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	三沢線		豊根村		起点	山内
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	石堂
		4(うち予約1)	0	0		
	国・県補助	県補助	あり		終点	豊根村診療所前
		国補助	なし			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

車を持たない高齢者の通院や買い物のための移動手段として、また、小学生・中学生の通学の足として利用されている。

沿線の主な施設

豊根村役場・豊根小、中学校・豊根村診療所

利用者・地域・運行事業者などからの要望

特になし。

今年度実施した取組とその効果

R2.4～ 牧野口、牧ノ嶋バス停留所を通園通学に都合のよい場所に移設し、利便性向上を図った。

R3.4～ 昼便を予約バスに変更し経費削減を図った。

R4.1～ 中学校未来塾時間変更により、石堂行き最終便「役場前～老平」間の運行を中止し経費削減を図った。

R4.11～ 「石堂」と「豊根村役場前」を入れ替え、利便性向上を図った。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目(H30)	963.0	8,002,665	6,256,665	1,746,000	0	8,002,665
2年目(R1)	960.0	8,869,064	7,128,064	1,741,000	0	8,869,064
3年目(R2)	928.0	8,954,876	7,319,876	1,635,000	0	8,954,876
4年目(R3)	751.0	8,531,533	4,032,533	4,499,000	0	8,531,533
5年目(R4)	769.0	8,479,873	3,857,873	4,622,000	0	8,479,873
6年目(R5)	770.0	7,881,953	3,575,953	4,306,000	0	7,881,953

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	10,690	1,700,350		1,700,350
2年目	10,788	1,744,800		1,744,800
3年目	9,268	1,704,750		1,704,750
4年目	10,521	1,472,000		1,472,000
5年目	9,990	1,436,800		1,436,800
6年目	9,458	1,388,900		1,388,900

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	11.1	21.2%	585,282.04	748,612.25		
2年目	11.2	19.7%	660,740.08	822,123.10		
3年目	10.0	19.0%	789,801.04	966,214.50		
4年目	14.0	17.3%	383,284.19	810,905.14		
5年目	13.0	16.9%	386,173.47	848,836.14		
6年目	12.3	17.6%	378,087.65	833,363.61		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

利用者については、通園・通学がほとんどであり、増減には影響が大きい。
経費については、予約バスに変更等したことにより削減につながったもの、近年の物価高騰により経費が増加している。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き、通院・買い物・通学の移動手段の確保を図る。

路線カルテ 富山線

資料 1 - 3 (豊根村)

系統の概要	運行系統名		運行事業者		運行区間	
	富山線		豊根村		起点	漆島
	運行回数	平日	土曜日	日祝	主な経由地	富山支所前
		9(火のみ11)	0	0		
	国・県補助	県補助	あり		終点	大嵐駅
		国補助	なし			

■本路線を取り巻く環境

本路線の役割

車を持たない高齢者の通院や買い物のため、JR飯田線大嵐駅との乗り換え利用により、静岡県浜松市（水窪地区）、新城・豊川市方面などへの移動手段となっている。

沿線の主な施設

JR飯田線大嵐駅・富山支所・森遊館、湯の島温泉・来富館・バンガロー村古里とみやま

利用者・地域・運行事業者などからの要望

特になし。

今年度実施した取組とその効果

R2.4～ 最終便を1便追加し通学等の利便性向上を図った。

R3.4～ 診療所の診療に併せ火曜日のみ運行している便を、診療時間変更により午後から午前に変更し、併せて飯田線に接続して利便性向上を図った。

■ 運行および利用の状況

年	年間 運行回数 (回)	年間 運行経費 (千円)	公的負担			
			市町村負担額 (千円)	県補助額 (千円)	国補助額 (千円)	公的負担計 (千円)
1年目(H30)	1,686.0	4,852,710	3,814,710	1,038,000	0	4,852,710
2年目(R1)	1,680.0	5,378,870	4,343,870	1,035,000	0	5,378,870
3年目(R2)	1,801.5	5,383,959	4,417,959	966,000	0	5,383,959
4年目(R3)	2,249.0	6,398,429	2,866,429	3,532,000	0	6,398,429
5年目(R4)	2,287.0	7,275,501	3,347,501	3,928,000	0	7,275,501
6年目(R5)	2,286.0	6,477,799	2,985,799	3,492,000	0	6,477,799

年	年間 利用者数 (人)	収入		
		運賃収入 (千円)	その他収入 (千円)	収入計 (千円)
1年目	1,990	463,400		463,400
2年目	1,629	412,450		412,450
3年目	1,235	346,600		346,600
4年目	1,351	273,100		273,100
5年目	1,774	331,600		331,600
6年目	2,235	339,100		339,100

年	1回あたり 利用者数 (人/回)	収支率 (%)	利用者1人あたり公的負担		輸送量 (実績値) ※	平均乗車密度 (実績値) ※
			市町村のみ (円/人)	全公的負担 (円/人)		
1年目	1.2	9.5%	1,916,939.70	2,438,547.74		
2年目	1.0	7.7%	2,666,586.86	3,301,945.98		
3年目	0.7	6.4%	3,577,294.74	4,359,480.97		
4年目	0.6	4.3%	2,121,709.10	4,736,068.84		
5年目	0.8	4.6%	1,886,979.14	4,101,184.33		
6年目	1.0	5.2%	1,335,927.96	2,898,344.07		

※ 地域間幹線系統のみ記載

利用状況等についての考察

利用者については、通学者が減少するなか、通勤・通院者が増えたことにより増加に転じている。
経費については、火曜日のみ運行の便を飯田線と接続したことによる運行回数の増と近年の物価高騰により経費が増加している。

今後の取組方針・予定

現行路線を維持し、引き続き、通院・買い物・通勤・通学の移動手段の確保を図る。

令和 6 年度 事業進捗管理シート

事業名	年度当初計画（3 月）：具体的な実施事業内容・実施予定	中間報告（1 月）：実施状況・今後の見込	最終報告（6 月）	
			実施結果	考察・未実施の理由
I -1 基幹バスの運行	継続運行	現状維持		
I -2 支線バス・予約バスの運行	継続運行	・道の駅したらへの乗り入れ【三都橋豊邦線・設楽町】 10 月 1 日～実施 ・スクールバスと混乗化の実施【三都橋豊邦線・設楽町】 10 月 1 日～実施 効果：R6 年度（概算）：10,047 千円+11,392 千円-212 千円＝21,227 千円 R7 年度見込み：6,698 千円+11,392 千円-212 千円＝17,878 千円		
I -3 タクシーの運行	継続運行	・福祉タクシーの実施【設楽町・東栄町】 継続実施		
I -4 バスサービスの評価と見直し	バス路線の見直し及びダイヤ改正（三都橋豊邦線・東栄設楽線・稲武線・豊根設楽線・津具線）	・道の駅したらへの乗り入れ【三都橋豊邦線・設楽町】 上記のとおり ・スクールバスと混乗化の実施【三都橋豊邦線・設楽町】 上記のとおり		
II -1 小中学生通学手段の提供	夏休み小学生 50 円バス事業への参加【東三河】 スクールバスの運行（設楽町） 路線バスの通学時乗り入れ（東栄町・豊根村）	・スクールバス・学輸バスの運行【設楽町・東栄町・豊根村】 継続実施 ・小中学生の無料乗車券配布【東栄町】 今年度実績（4/1～12/1） 東栄町 149 件		
II -2 高校への通学手段の提供	田口高校生への通学費全額補助（設楽町）	・通学費補助制度の実施【設楽町・東栄町・豊根村】 今年度実績（4/1～12/1）設楽町 83 件・東栄町 47 件・豊根村 12 件		
II -3 新高校一年生に向けた公共交通利用の促進	実施日未定	実施日未定		
III -1 高齢者の外出手段確保の取り組み	高齢者にむけた公共交通を利用してもらうための取組（バスの乗り方出前講座等）	・のってかせ事業（津具地区のみ）の維持【設楽町】 今年度実績（4/1～11/30） 619 件 ・福祉移送サービスの継続【設楽町】 今年度実績（4/1～11/30） 773 件 ・福祉タクシー券交付事業の継続【東栄町】 今年度実績（4/1～10/31） 91 件 ・敬老等乗車券の交付【豊根村】 今年度実績（4/1～12/1） 1 件（新規交付のみ） ・がんばらマイカー事業の維持【豊根村】 今年度実績（4/1～10/31） 421 件 ・バスの乗り方出前講座【設楽町・東栄町・豊根村】 今年度実績（4/1～12/1）設楽町 0 件・東栄町 11 件・豊根村 0 件		
III -2 高齢者の交通事故防止と公共交通利用増に向けての取り組み	実施日未定	・乗車説明会の実施【三都橋豊邦地区・設楽町】 12 月 14 日実施予定 ・設楽ダム見学ツアーの実施（R5 継続）【設楽町】 今年度実績（4/1～12/1） 6 回実施		

Ⅲ-3 車両購入時に高齢者が利用しやすい車両の導入	車両購入時随時実施	令和6年未実施		
Ⅳ-1 田口新城線の活性化	田口新城線利用促進イベント（設楽ダム見学ツアー）	・設楽町役場へ路線延長【設楽町】 10月1日～実施 ・住民周知チラシ作成【設楽町】 10/1 田口新城線住民周知チラシ作成 12/14 三橋豊邦線周知チラシ作成 ・交通系 IC カードの導入【設楽町】 令和7年4月1日～実施予定 ・設楽ダム見学ツアーの実施（R5 継続）【設楽町】 上記のとおり		
Ⅳ-2 JR 飯田線・高速バスと連携した利用促進	実施日未定	設楽ダム見学ツアーの実施（R5 継続）【設楽町】 上記のとおり		
Ⅳ-3 公共交通を活用した利用プラン	路線バスの利用促進イベントの実施【東三河】 夏休み小学生 50 円バス事業への参加【東三河】	・設楽ダム見学ツアーの実施（R5 継続）【設楽町】 上記のとおり ・夏休み 50 円バスの実施【東三河】 今年度実績 設楽町 61 件・東栄町 1 件・豊根村 405 件		
Ⅴ-1 公共交通に親しみを持ってもらう取り組み	路線バスの利用促進イベントの実施【東三河】 夏休み小学生 50 円バス事業への参加【東三河】	・設楽ダム見学ツアーの実施（R5 継続）【設楽町】 上記のとおり ・乗車説明会の実施【三都橋豊邦地区・設楽町】 上記のとおり ・夏休み 50 円バスの実施【東三河】 上記のとおり		
Ⅴ-2 バス停の魅力向上	実施日未定	実施日未定		
Ⅴ-3 沿線施設と連携したバス利用特典の実施	路線バスの利用促進イベントの実施【東三河】	路線バスの利用促進イベントの実施【東三河】 ※（）応募件数 公共交通 ポスター（180 件）・川柳（414 件）の募集		
Ⅵ-1 GTFS データを活用した情報化推進	GTFS データの活用、おでかけ北設 HP に掲載	・おでかけ北設路線の GTFS データの整備【設楽町・東栄町・豊根村】 令和6年3月～実施		
Ⅵ-2 おでかけ北設 HP の見直し	おでかけ北設 HP の刷新	実施日未定		
Ⅶ-1 運転手の確保に向けた取り組みの実施	随時報告	実施日未定		
Ⅶ-2 将来に向けた持続可能な運営体制確立	随時報告	実施日未定		

令和6～10年度 事業進捗管理シート（結果のまとめ）

事業名	R6	R7	R8	R9	R10
I -1 基幹バスの運行					
I -2 支線バス・予約バスの運行					
I -3 タクシーの運行					
I -4 バスサービスの評価と見直し					
II -1 小中学生通学手段の提供					
II -2 高校への通学手段の提供					
II -3 新高校一年生に向けた公共交通利用の促進					
III -1 高齢者の外出手段確保の取り組み					
III -2 高齢者の交通事故防止と公共交通利用増に向けての取り組み					
III -3 車両購入時に高齢者が利用しやすい車両の導入					
IV -1 田口新城線の活性化					
IV -2 JR 飯田線・高速バスと連携した利用促進					
IV -3 公共交通を活用した利用プラン					
V -1 公共交通に親しみを持ってもらう取り組み					
V -2 バス停の魅力向上					
V -3 沿線施設と連携したバス利用特典の実施					
VI -1 GTFS データを活用した情報化推進					
VI -2 おでかけ北設 HP の見直し					
VII -1 運転手の確保に向けた取り組みの実施					
VII -2 将来に向けた持続可能な運営体制確立					

町営バス東栄設楽線の田口高乗入れについて（協議事項）

【協議事項の概要】

対象路線	1.東栄設楽線
協議内容	① 8:02 発田口行きの便に田口高校を追加する
変更理由	田口高校への通学環境改善のため
検討経緯	9月5日 事業者打ち合わせ 9月18日 乗入れ試走
実施時期	令和7年4月1日（予定）

【1.東栄設楽線の改正案について】

- ・8:02 発田口行きの便を田口高校に乗入れを行う。

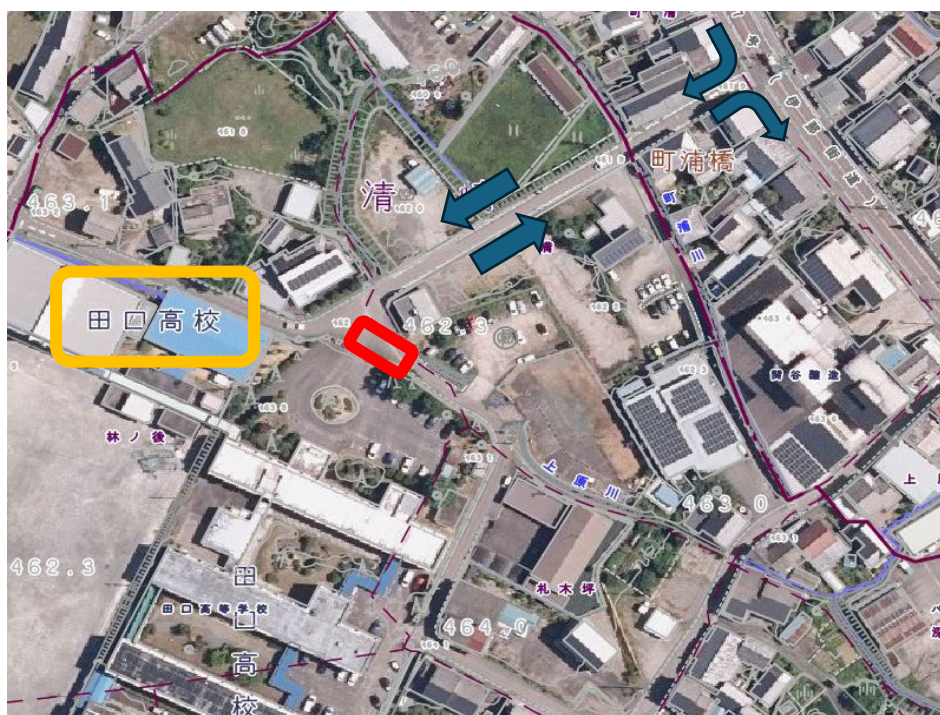
○現行【田口行き・上り】

本郷→神田→田口									
料金	運行バス	①	③	⑤	⑦	⑨	⑪	⑬	⑮
		東栄1号	設楽1号		東栄1号	設楽1号		東栄1号	設楽1号
200円	本郷		8:02		12:55			16:12	17:40
	豊川信用金庫東栄支店		8:03		12:56			16:13	17:41
	二ツ田		8:04		12:57			16:14	17:42
	東栄診療所前				12:58			16:15	17:44
	東栄小学校前							16:16	
	とうえい温泉前				13:01			16:18	17:46
	市場		8:06		13:02			16:19	17:47
	東栄町役場前	6:43	8:07		13:03			16:20	17:48
	戦橋北	6:44	8:08		13:04			16:21	17:49
	加賀野	6:45	8:09		13:05			16:22	17:50
	中設楽ファミリーマート東	6:46	8:10		13:06			16:23	17:51
	千代姫荘前	6:47	8:11		13:07			16:24	17:52
	三沢	6:48	8:12		13:08			16:25	17:53
	三月	6:49	8:13		13:09			16:26	17:54
	東栄中村	6:50	8:14		13:10			16:27	17:55
200円	引田	6:51	8:15		13:11			16:28	17:56
	向嶋	7:04	8:28	(9:50)		13:54	(15:24)	16:41	18:09
	神田	7:05	8:29	(9:51)	13:23	13:55	(15:25)	16:42	18:10
	川端	7:06	8:30	(9:52)		13:56	(15:26)	16:43	18:11
	新黒倉	7:07	8:31	和市・黒倉		13:57	和市・黒倉	16:44	18:12
	新和市	7:10	8:34	經由		14:00	經由	16:47	18:15
	荒尾口	7:11	8:35	(10:02)		14:01	(15:36)	16:48	18:16
	上杉平	7:13	8:37	(10:04)		14:03	(15:38)	16:50	18:18
	東太田口	7:14	8:38	(10:05)		14:04	(15:39)	16:51	18:19
	太田口	7:15	8:39	(10:06)		14:05	(15:40)	16:52	18:20
	栄町	7:16	8:40	(10:07)		14:06	(15:41)	16:53	18:21
	設楽警察署前	7:17	8:41	(10:08)		14:07	(15:42)	16:54	18:22
	田口	7:18	8:42	(10:09)		14:08	(15:43)	16:55	18:23

○改正案【田口行き・上り】

本郷→神田→田口									
料金	運行バス	①	③	⑤	⑦	⑨	⑪	⑬	⑮
	東栄1号	設案1号			東栄1号	設案1号		東栄1号	設案1号
200円	本郷		8:02		12:55			16:12	17:40
	豊川信用金庫東栄支店前		8:03		12:56			16:13	17:41
	二タ田		8:04		12:57			16:14	17:42
	東栄診療所前				12:58			16:15	17:44
	東栄小学校前							16:16	
	とうえい温泉前				13:01			16:18	17:46
	市場		8:06		13:02			16:19	17:47
	東栄町役場前	6:43	8:07		13:03			16:20	17:48
	戦橋北	6:44	8:08		13:04			16:21	17:49
	加賀野	6:45	8:09		13:05			16:22	17:50
	中設案ファミリーマート東	6:46	8:10		13:06			16:23	17:51
	千代姫荘前	6:47	8:11		13:07			16:24	17:52
	三沢	6:48	8:12		13:08			16:25	17:53
	月	6:49	8:13		13:09			16:26	17:54
	東栄中村	6:50	8:14		13:10			16:27	17:55
	引田	6:51	8:15		13:11			16:28	17:56
	向嶋	7:04	8:28	(9:50)		13:54	(15:24)	16:41	18:09
	神田	7:05	8:29	(9:51)	13:23	13:55	(15:25)	16:42	18:10
200円	川端	7:06	8:30	(9:52)		13:56	(15:26)	16:43	18:11
	新黒倉	7:07	8:31	和市・黒倉		13:57	和市・黒倉	16:44	18:12
	新和市	7:10	8:34	經由		14:00	經由	16:47	18:15
	荒尾口	7:11	8:35	(10:02)		14:01	(15:36)	16:48	18:16
	上杉平	7:13	8:37	(10:04)		14:03	(15:38)	16:50	18:18
	東太田口	7:14	8:38	(10:05)		14:04	(15:39)	16:51	18:19
	太田口	7:15	8:39	(10:06)		14:05	(15:40)	16:52	18:20
	栄町	7:16	8:40	(10:07)		14:06	(15:41)	16:53	18:21
	設案警察署前	7:17	8:41	(10:08)		14:07	(15:42)	16:54	18:22
	田口高校前	-	8:43	-	-	-	-	-	-
	田口	7:18	8:45	(10:09)		14:08	(15:43)	16:55	18:23

【停車位置案①】



【停車位置案②】



【改正理由】

- ・以前より協議会で議論されていた件であり、車両のサイズ問題で難しいとされていたが、試走を行い検証した結果、乗入れについて可能であると判断できた。東栄町方面から田口高校への通学環境を改善させるために実施するもの。

【改正後の対応】

- ・今後、夕方の便についても要望があれば、乗入れについて検討する。
- ・他路線についても、要望に応じ、随時検討するものとする。

町営バス稲武線の一部ダイヤ改正について（協議事項）

【協議事項の概要】

対象路線	4.稲武線
協議内容	① 15:55 発どんぐりの湯前行きのダイヤ修正
変更理由	田口高校からの帰宅環境改善のため
検討経緯	10月上旬 田口高校から相談 10月中旬 事業者打合せ
実施時期	令和7年4月1日

【4.稲武線の改正案について】

- ・15:55 発どんぐりの湯前行きの便について、5分程度遅らせるダイヤ改正を行う。
- ・また、12月16日の田口新城のダイヤ改正に伴い、接続を考慮したダイヤに改正する。

○現行【どんぐりの湯前行き・上り】

バス停名	便名	①	③	⑤A	⑤B	⑦	⑨
田口		5:30	7:00	12:30	12:30	15:55	18:08
設楽警察署前		5:31	7:01	12:31	12:31	15:56	18:09
栄町		5:32	7:02	12:32	12:32	15:57	18:10
太田口		5:33	7:03	12:33	12:33	15:58	18:11
小松口		5:35	7:05	12:35	12:35	16:00	18:13
添沢		5:36	7:06	12:36	12:36	16:01	18:14
奴田口		5:37	7:07	12:37	12:37	16:02	18:15
川向公会堂前		5:38	7:08	12:38	12:38	16:03	18:16
中川向		5:40	7:10	12:40	12:40	16:05	18:18
川向		5:41	7:11	12:41	12:41	16:06	18:19
長沢		5:46	7:16	12:46	12:46	16:11	18:24
峠		5:47	7:17	12:47	12:47	16:12	18:25
名大設楽前		5:48	7:18	12:48	12:48	16:13	18:26
名倉大桑		5:49	7:19	12:49	12:49	16:14	18:27
大平		5:50	7:20	12:50	12:50	16:15	18:28
名倉局前		5:51	7:21	12:51	12:51	16:16	18:29
神子谷下		//	//	//	(12:56)	//	//
市之瀬		//	//	//	(12:58)	//	//
神子谷下		//	//	//	(13:00)	//	//
下林		5:52	7:22	12:52	13:01	16:17	18:30
名倉小学校前		5:53	7:23	12:53	13:02	16:18	18:31
湯谷		5:54	7:24	12:54	13:03	16:19	18:32
貝津田		5:55	7:25	12:55	13:04	16:20	18:33
川口		5:56	7:26	12:56	13:05	16:21	18:34
森田橋		5:57	7:27	12:57	13:06	16:22	18:35
清水		5:58	7:28	12:58	13:07	16:23	18:36
駒ヶ原口		6:00	7:30	13:00	13:09	16:25	18:37
下山		6:01	7:31	13:01	13:10	16:26	18:38
桜橋		6:03	7:33	13:03	13:12	16:28	18:41
中当		6:04	7:34	13:04	13:13	16:29	18:42
横川		6:06	7:36	13:06	13:15	16:31	18:44
大井平公園前		6:07	7:37	13:07	13:16	16:32	18:45
稲武		6:08	7:38	13:08	13:17	16:33	18:46
どんぐりの湯前		6:10	7:40	13:10	13:19	16:35	18:48

○改正案【どんぐりの湯前行き・上り】

バス停名	便名	①	③	⑤A	⑤B	⑦	⑨
田口		5:30	7:00	12:30	12:30	16:00	18:10
設楽警察署前		5:31	7:01	12:31	12:31	16:01	18:11
栄町		5:32	7:02	12:32	12:32	16:02	18:12
太田口		5:33	7:03	12:33	12:33	16:03	18:13
小松口		5:35	7:05	12:35	12:35	16:05	18:15
添沢		5:36	7:06	12:36	12:36	16:06	18:16
奴田口		5:37	7:07	12:37	12:37	16:07	18:17
川向公会堂前		5:38	7:08	12:38	12:38	16:08	18:18
中川向		5:40	7:10	12:40	12:40	16:10	18:20
川向		5:41	7:11	12:41	12:41	16:11	18:21
長沢		5:46	7:16	12:46	12:46	16:16	18:26
峠		5:47	7:17	12:47	12:47	16:17	18:27
名大設楽前		5:48	7:18	12:48	12:48	16:18	18:28
名倉大桑		5:49	7:19	12:49	12:49	16:19	18:29
大平		5:50	7:20	12:50	12:50	16:20	18:30
名倉局前		5:51	7:21	12:51	12:51	16:21	18:31
神子谷下					(12:56)		
市之瀬					(12:58)		
神子谷下					(13:00)		
下林		5:52	7:22	12:52	13:01	16:22	18:32
名倉小学校前		5:53	7:23	12:53	13:02	16:23	18:33
湯谷		5:54	7:24	12:54	13:03	16:24	18:34
貝津田		5:55	7:25	12:55	13:04	16:25	18:35
川口		5:56	7:26	12:56	13:05	16:26	18:36
森田橋		5:57	7:27	12:57	13:06	16:27	18:37
清水		5:58	7:28	12:58	13:07	16:28	18:38
駒ヶ原口		6:00	7:30	13:00	13:09	16:30	18:39
下山		6:01	7:31	13:01	13:10	16:31	18:40
桜橋		6:03	7:33	13:03	13:12	16:33	18:43
中当		6:04	7:34	13:04	13:13	16:34	18:44
横川		6:06	7:36	13:06	13:15	16:36	18:46
大井平公園前		6:07	7:37	13:07	13:16	16:37	18:47
稲武		6:08	7:38	13:08	13:17	16:38	18:48
どんぐりの湯前		6:10	7:40	13:10	13:19	16:40	18:50

【改正理由】

- ・令和6年10月1日から新ダイヤで運行を開始したところであるが、田口高校の就業時間が16:45分となっており、稲武線を利用する田口高生の帰宅に不便が生じているため、ダイヤを5分程度遅らせるもの。

※稲武での接続には影響がない旨、町営バス運行事業者に確認済み。